



三條北ロータリークラブ週報

PUT LIFE INTO ROTARY — YOUR LIFE

ロータリーに活力を—あなたの活力を

国際ロータリー会長 ロイス・アビー 第256地区ガバナー 榎内悌三郎

例会日

1988. 12 . 13

累計 No 103

当年 No 24

会長／梨本 清一

幹事／今井 克義

SAA／米山 忠俊

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三條ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三條市西四町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： 榎内ガバナー公式訪問

出席： 本日の出席 41名中37名

先週の出席率 41名中39名 95.12%

先週のメイクアップ： 12月7日 三條RCへ 笹原勝治君

12月12日 三條南RCへ 山上茂夫君

ビジター： ガバナー 榎内悌三郎殿

新潟第4分区代理 吉井俊介殿

三條RCより 山本福七君 加藤信次郎君

三條南RCより 馬場信彦君 韭沢喜一郎君

見学者： 新入会員入会予定者 外山晴一君 坂内康男君

会長挨拶： 梨本清一

愈々、本日はお待ち申し上げておりました榎内ガバナーの公式訪問日であります。榎内ガバナーには、お役目とは言え、日夜、しかも日曜日も祝日もないガバナーとしてのお仕事、本当にご苦労さまでございます。特にこの公式訪問というお仕事は、79のクラブを6ヶ月で訪問され、ご指導なされるという、肉体的にも精神的にも大変にハードなお仕事でございます。ただ今、お元気なご様子を拝見して喜こんでいるところでございますが、心より敬意を表し、同時にまた本当にご苦労さまですと卒直に申し上げたいと思います。さて、私どものクラブは、創立して丁度まる2年が経過致しました。私は、本年度クラブ会長指針の冒頭に、私達のクラブはまだまだ形成途上のクラブであるという認識に立って、一生懸命勉強を重ね、そして行動していこう、と訴えました。三條北RCの歴史をつくる、その礎となる者こそ、今のこの我々メンバーなのだ、と真剣にロータリー活動に取り組むことを望みました。過日、吉井分区代理がお出になり、「公式訪問とは、ガバナーと会員とが身近かに懇談する場である」とご説明がありました。大変思いやりのある、ありがたい解説でありましたが、私どもにとりましては、「ロータリーとは何か、をガバナーから教えて頂く場

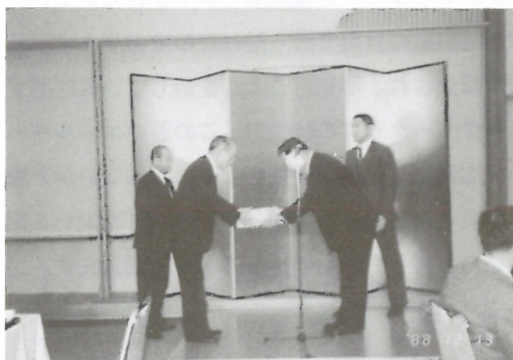
榎内悌三郎ガバナーを迎えて



卓話を行う榎内ガバナー



懇親会の挨拶をする梨本会長



記念品を贈呈する杉野三條RC会長



次期会長も思わず構えて

である」と、とらえております。的はずれの発言や、質問もあろうかと存じますが、未だ未だ形成途上で、手探りでロータリーを探し求めている集団であるのご容赦載き、一面厳しいご指導を賜りたいと、どうぞよろしくお願い申し上げます。最後になりましたが吉井分区代理には、分区代理というお立場からもまたスポンサークラブ会員の先輩としても、日頃から、陰に陽に、暖いご指導を賜っておりますことに、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

幹事報告： 今井幹事

◇R Iより88年度下半期の人頭分担金、ロータリアン購読料振込の案内が来ております。

現行レート1 \$127円が1月から1 \$122円になるそうです。

◇妙高高原RCより10月30日に行われました創立25周年記念式典の礼状が届いております。

◇20日(火)に行われます、クリスマスパーティーの出欠表を回しますので出欠をご記入下さい。

＜登録料＞会員3,000円 夫人2,000円 子供1,000円

◇ソウル国際大会に参加される方は、申込書及び申込み金参加者一人三万円とパスポートを幹事又は事務局までご持参下さい。(現在お持ちの方)

◇地区ガバナーより1989年規定審議会解説書の送付がありました。

◇新入会員石丸孝行君の所属委員会は親睦活動委員会です。

国際連合工業開発機関、東京投資促進事務所より東南アジアから招聘した投資担当官11名の接待に対し、感謝の礼状が届いております。(8月6～7日のJICA作戦)

本日檜内ガバナー、吉井分区代理より多額のご厚志を載きました。厚く御礼申し上げます。

ニコニコBOX：

梨本清一君 檜内ガバナー、吉井分区代理のご訪問を感謝しご指導よろしくお願いします。

目黒宣行君 檜内ガバナーの公式訪問を記念して。

粉川昭蔵君 公式訪問を記念して。

樋口金占君 ガバナー公式訪問を記念して。

大野新吉君 檜内ガバナーの公式訪問を記念して。

落合益夫君 米山奨学のご指導よろしくお願いします。

堀川正幸君 ガバナー本日はようこそ!!寒い中をありがとうございます!!

佐藤啓策君 檜内ガバナー御指導宜しく御願ひ致します。

平松利朗君 絶好の小春日和に檜内ガバナーを心より歓迎申し上げます。

今井克義君 檜内ガバナー、吉井分区代理ご指導ありがとうございます。

米山忠俊君 檜内ガバナーの公式訪問を記念して。

羽賀一夫君 檜内ガバナー御苦勞様です。どうぞお手やわらかにお願い致します。

笹原勝治君 檜内ガバナーの来条を北ロータリーのメンバーとお天気まで歓迎。ようこそ北ロータリーへ。

れて行きました。従って、私の前後左右は全部大きな外人ばかりでありました。しかし、かえってスマイルと信頼感があれば、国際社会ではブロークンな英語でも意思が通じることが判りました。日本人同志では、ブロークンだ、文法がなっていない、発音がうまくない等と批判されますが、周りが外人ならば、かえって遠慮会釈もなく、何とか意思も通じました。最初は、チャールズ・C・ケラーの話でした。彼は非常に陽気な人でありますから、まず開口一番ポリオ・プラスの話。1億2千万ドルをお願いしたところ2億1千万ドルの申込みがありました。××国は何%日本は6番目ではほぼ100%と説明。私が当時参りましたときは、平均値48%で、52%の手形を切られ非常に重荷に感じていたものでした。彼は、非常に陽気で、万才大成功との話でありました。次に、ロイス・アビーは、161ヶ国105万人の会員がいますが、20%の方々は一生懸命で、あとの80%はふやけているとの指摘をし、これはロータリーの強化をはかって欲しいという挨拶でありました。もちろん、日本にも7名のクラブがあります。たった7名でクラブを維持するのですから何も出来ませんが、世界的には多くあります。従って、皆様にはクラブを強化して、お互いに友情を分かち、そして職業の繁栄をするように各々クラブに伝えて頂きたいというお願いであります。最後に、私が一番痺れたのがフィラデルフィアの市町の話でした。壇上に上った姿はインディアンで、鳥の帽子をかぶり紅白の曼陀羅のガウンを着ていました。一瞬、周囲は人種差別の空気が流れました。彼は、両隣の方々手を握り合ってください。そして、しばらくお祈りして下さいと言いました。この瞑想といいましても2分間に近いものでありまして、日本の黙禱というよりは随分長く感じました。人間は太陽と大地の恵みによって生かされているのであり、太陽の恵みの多いところ、少ないところ、大地の肥沃なところ、砂漠のようなところ、人々の肌の黒い人も白い人も、あるいは黄色人も、それぞれの地域に人間は英知と創意をもって立派に生活しているのであります。そして、そこに子孫をつくり、家庭をつくり、社会をつくり国をつくっているのです。それぞれ100数ヶ国の参加された皆様が、その国々に友情を通じてロータリークラブに信奉する方々がいらっしゃいますが、その代表として、この遠いフィラデルフィアによくおいで下さいました、ありがとうございましたとの挨拶。更に続けて説明され先程の手を握って頂いた両隣の方々の温い血のかよいが感じましたでしょうか。そして、握った手の脈拍が皆様方1人1人のハートに繋って……。どうか、そのハートの一つにして本大会の成功を祈ります。いままで、人種差別で多少ざわめいていた会場の空気が一瞬にしてシーンと静まりかえり、やがて感激の言葉で満ち溢れたのであります。私は人類は平等であり心一つにすればすべての問題が解決され、平和もこの心を通じていれば必ず平和がもたらせると思いました。どうか、三条北ロータリークラブの皆様方、この若いエネルギーを心一つにして、ロータリーに力をおかけ下さい。悠悠たる前途が期待されるのではないかと思う次第であります。どうか、一層のご健勝ご多幸をお祈り申し上げると同時に一層のご繁栄をご期待申し上げて、長時間ご清聴頂きましたことに感謝いたしまして、私の話を終らせて頂きます。

12月20日例会： クリスマス例会 18.30点鐘 おゝ乃

12月27日例会： クラブフォーラム